

事業概要：感動人口1億人と越境共創リビングラボによる次世代型地域産業クラスター形成プロジェクト

申請者	北海道上川町					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	804,430千円 (177,280千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地域産業クラスター関連事業	
目的・効果	・官民共創中間支援組織とローカルゼブラの主導により、地域外の企業、大学等が参入し、社会性と経済性が両立するゼブラ思想を共有する新しい地域産業クラスターの形成により、リビングラボの手法を用いた少子高齢化社会に対応する次世代型ソリューションの実証、実装を連鎖的に生み出し、社会的インパクトも発揮しながら地域経済の付加価値向上を目指す。 ・また、これら経済循環の再構築に伴う事業に、都市部の経営者やビジネスパーソン、学生などを積極的に呼び込み、一般的な関係人口よりも地域へのコミットメント意識や行動力がより高い「感動人口※上川町独自の呼称」を生みだし、定住人口規模に左右されない地域経営構造を構築していく。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 官民共創中間支援組織の組成と機能強化により、行政主導のまちづくりからの脱却を図りつつ、地域経営マネジメントの高度化や、人と資金の流入等を促進しながら、10年先、20年先を見据えた次世代型の地域産業クラスターを形成。少子高齢化に対応した次世代型ソリューションの開発や実装、ローカルゼブラの創業連鎖とホールディングス化、感動人口と地域を接続する次世代型アンテナショップの開設、ローカルゼブラスクールの運営などを総合的に展開していく。							
	【ソフト事業】 ・官民共創中間支援組織の組成・機能強化101,801千円 ・感動人口創出による地域人材循環、資金循環、消費拡大84,225千円 ・次世代型ソリューションの実装、次世代型地域産業クラスター形成164,285千円 【拠点整備事業】 ・該当なし 【インフラ整備事業】 ・該当なし							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域内の付加価値増加額の推計（+1.40億円） ②新規開業数・事業承継数（+9件） ③本事業への企業や団体の参画数（+36件） ④次世代型アンテナショップ利用者数（+3,506人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	—	